



# あと一步の向上に向けた取組

## 函館市立港中学校

生活習慣・学習習慣の形成	基礎的・基本的な知識・技能の習得	望ましい学習態度の育成	学校組織・指導体制の改善
--------------	------------------	-------------	--------------

### 1 学力向上の具体的な方策

- ① T T 授業、少人数・習熟度別学習等による、きめ細やかな指導体制
- ② 教師一人一人の授業力向上を目指した交流授業実践

### 2 取組の概要

#### ①「数学・英語でのT T 授業、少人数・習熟度学習等による、きめ細やかな指導体制」について

教師2人によるT T 授業を全学年・全学級で行い個への指導・対応の充実を心がけている。2年生と3年生において、少人数・習熟度別学習を実施している。数学と英語で1グループの人数が、10名から15名の少人数で、基礎・基本の定着を図るために学習したことを繰り返したり、じっくりと考え・深める場面を設けたり、多様な学習を展開している。



#### ②「教師一人一人の授業力向上を目指した授業実践」について

教科での研究と学年での協議体制を基に、教師全員が「自ら考え、豊かに表現する生徒の育成」をテーマとして授業実践を行なった。思考・判断・表現を大切にした活用場面を意図的に設定し、指導と評価の一体化を図るなど、学習指導要領をふまえ、生徒の多様な学力の向上を目指し、授業の改善を含めて取り組んでいる。



### 3 成果（○）と課題（●）

- T T 授業や少人数・習熟度別学習、さらには放課後・長期休業中の学習サポート等で学習意欲が向上したり、学習事項の定着が図られたりした生徒が多い。

◇ 3年生「実力テスト総合ABC平均点の向上」

国語			数学			英語		
A	B	C	A	B	C	A	B	C
29.2	29.9	35.9	19.4	22.1	27.7	24.2	26.0	26.9

- 目標、実態把握、評価規準、学習過程、振り返り、形態、教材、発問など、授業要素を確実に組み立てた骨太の授業・活動を心がけ、学力向上を図る。